



平成18年1月編集・発行
平成21年1月改訂
平成24年9月改訂
令和 8年3月改訂
仙台市こども若者局
幼稚園・保育部 運営支援課

保育者からの
メッセージ



かみつき
ひっかき

自分の気持ちを、言葉で十分にあらわせない時に見られる行動のひとつです。気持ちを、言葉で伝えられるようになってくると、徐々に見られなくなってきます。



かみつきやひっかきは、

どうしてするの？

*0～1歳の頃のかみつきやひっかきは、自我が芽生え意思を伝えようとするコミュニケーションのひとつです。言葉で気持ちを伝えられるようになると、徐々に落ち着いていきます。

ここ ぼくの ばしょ
だからこないで！
(気持ちを伝えられない時)

歯が
ムズムズするな～
(歯の生え始めの頃)

〇〇ちゃん
だ～いすき！
…… (カプツ)
(愛情表現のつもりで)



この おもちゃ
つかってたのに～！
(思い通りにいかない)

眠くなってきた…
イライラするなあ。
(体調が悪い時)

(たまたま友達の手が
自分の口もとに来て)
これ なんだろう？…… (カプツ)
(小さい子は何でも口で確かめようとするため)

友達をかんだり、ひっかいてしまったら…

- *かんだり、ひっかいたりすることには、こどもなりの理由があります。原因や、気持ちをわかってあげながらも、「かしてっいうんだよ」などと伝えていきましょう。
- *「△△ちゃんも～～したかったんだね」など、お互いの気持ちを言葉にしてあげましょう。
- *こまめにツメを切っておくことも大切です。

公園や友達のお家に遊びに行って

かみついたり、ひっかいたりしたら…

「□□ちゃん泣いてるね。かまれたら痛いだよ。」「カミカミしないでね。」など、かみつきがいけないことだと知らせ、かまれた友達へは「ごめんね。痛かったよね。」など声をかけ、相手のお家の方にも誠実に接しましょう。

